

# 平成4年度三翠化学会総会報告

## 三翠化学会

(題字は稲川先生)

第37号  
平成4年10月31日発行  
三翠化学会  
津市上浜町1515  
三重大学農芸化学コース内  
電話/津(0592)32-1211  
振替/名古屋9-59345  
印刷/株式会社あるも  
TEL(052)332-0861 大8長谷川正



### 新緑の榊原温泉にて 盛大に開催!!

#### 東海支部、三重県支部総会も

平成4年度三翠化学会総会が、去る5月23日(土)、24日(日)に、新緑の美しい榊原温泉 清少納言で開催された。

署名人に田中 美氏(大20)を選出し議事に入った。議題としては、まず平成3年度の事業報告及び決算報告が、西川幹事(大20)より、監査報告が数本監事(大4)よりなされ、審議の結果、いずれも異議なく承認された。続いて平成3年度基金の運用について、小畑(大15)より報告が、同監査報告が数本監事よりなされ、これも異議なく承認された。さらに、松田英治氏(専1)、議事録

を設営頂いた三重県支部のらいて六名の美女をお呼び頂いたのも会の盛り上がり大いに貢献した。予定の時間をオーバーして最も最高に盛り上げた所で、恒例の三翠応援歌が、若い二十五回生の面々のリードで声高らかに歌われた。締め括りは松村関西支部長の音頭で万才を三唱し、会はお開きとなった。本年度総会は女性と若手に活躍のおうとの意図で計画され、会の開催を知らせる会報第三十六号では女性、若手会員のつどいと銘打たれたが、役員諸氏の御努力にもかかわらず、参加頂いた女性は四名、三十回以降の若手会員は〇であった。会の末永い発展のために、さらに努力の必要なことが痛感された。夜は、クラス会の持たれたクラスでは、それぞれの宿泊室で、懇親会を盛り上げた美女を交えて二次会が持たれ、夜遅くまで歓談が続いた。又その他の部屋でも、静かに語り合いが持たれた。件の美女とお酒で大いに盛り上がりがあったりした。

翌24日(日)にはクラス会の続きでドライブ旅行に出る大12回、所用で急いで帰られる方々と玄関前でお別れし、6台の車に分乗してツツジの美しい青山高原へと向った。当日は青山高原道路一帯でマラソン大会が行われており、ツツジと新緑を楽しみながら、さわやかな一時であった。マラソン出走前に青山高原を後にし、急いで帰られる方々とお別れして、一行は次の目的地赤目四十八滝へと向った。赤目も新緑に包まれて家族づれや若い二人組で賑わっていた。全員で昼食を食べ、一杯のビールを楽しみ、次の再会を約して散会した。

平成3年度三翠化学会基金決算報告

収入の部	
前年度よりの繰越	1,489,831円
定額貯金利息	234,012
郵便貯金利息	3,121
計	1,726,964
支出の部	
新入生歓迎会	30,000円
支部活動費	80,000
同上送料	1,326
こうより補助	30,000
総会写真・送付関係費	35,123
卒業記念品費	89,821
計	266,270
差引残高	1,460,694円

平成4年度三翠化学会事業計画(案)

平成4年	4月24日: 農芸化学新入生歓迎会
	5月8日: 第1回役員・評議員会および基金運用委員会
	5月23日: 平成4年度総会(榊原温泉 清少納言) ~24日
	8月: 第2回役員・評議員会および基金運用委員会
	9月: 三翠化学第37号発行
	11月: 第3回役員・評議員会および基金運用委員会
平成5年	2月: 第4回役員・評議員会および基金運用委員会
	3月: 三翠化学第38号発行

平成3年度三翠化学会事業報告

平成3年	4月24日: 農芸化学新入生歓迎会
	5月17日: 第1回役員・評議員会および基金運用委員会
	6月2日: 平成3年度総会(三重大学生物資源学部)
	8月2日: 第2回役員・評議員会および基金運用委員会
	9月30日: 三翠化学第35号発行
平成4年	2月14日: 第3回役員・評議員会および基金運用委員会
	3月31日: 三翠化学第36号発行

基金管理内容

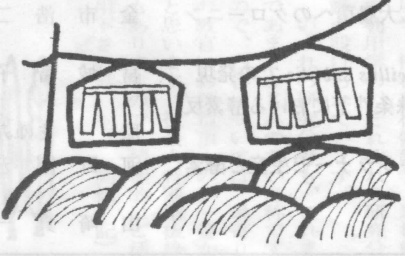
定額郵便貯金	20万円×6	1,200,000円
郵便貯金		260,694円

三翠化学平成4年度予算(案)

1) 収入の部	前年度実績	予算(円)
	前年度繰り越し	508,609
	会費	973,000
	雑収入	0
	預金利息	12,168
計	1,493,777	1,279,924
2) 支出の部		
	会報印刷費	349,170
	郵送通信費	161,690
	会議費	144,266
	人件費	77,000
	負担金	30,000
	事務費	40,592
	予備費	21,135
計	823,853	1,279,924
差引残高	669,924	0

三翠化学会平成3年度決算報告

1) 収入の部	予算	決算	(円)
	前年度繰り越し	508,609	508,609 (前納分を含む)
	会費	675,000	973,000
	雑収入	5,000	0
	預金利息	5,000	12,168 (定期解約)
計	1,193,609	1,493,777	
2) 支出の部			
	会報印刷費	450,000	349,170 (会報35、36号)
	郵送通信費	300,000	161,690 (会報発送・会議連絡)
	会議費	150,000	144,266 (役員・評議会・総会)
	人件費	95,000	77,000 (会報発送アルバイト)
	負担金	30,000	30,000 (三翠会三重県支部連絡協議会)
	事務費	50,000	40,592
	予備費	118,609	21,135 (植樹標柱、弔電)
計	1,193,609	823,853	
次年度繰り越し		669,924	
差引残高		0	



# 生物資源学部新校舎 (一期工事分)完成!! 二期工事分はいつ?

左端の7階建ての大きなビルがそれ。その右は、以前からある旧農学部の三号館と二号館。一期工事は、平成2年9月20日に完成し、旧農学部校舎の三号館にあった研究室と旧水産学部のすべてが、すでにこの新校舎に入っています。次の二期工事(二期工事のと対称的にその右側に接して)できる予定が完成すれば、我が農芸化学など旧農学部校舎の一号館と二号館に現在までずっといるすべての研究



室が移ることになっています。しかし、諸般の事情で予定が遅れに遅れ、少なくともあと2、3年は無理ではないでしょう

か。なお、最終的には、旧農学部校舎は全部取り壊されて、跡地は緑地帯(憩いの場)となる構想があります。



生物資源学部新校舎完成予想写真!!  
特殊撮影・田口 寛

## 修士論文テーマ

<b>[土壌学・植物栄養学研究室]</b> 植物培養細胞における亜鉛の生理作用に関する研究——特にタンパク質合成との関連について——	戸田 務彦
水田土壌——植物系におけるメタンガス放出の制御に関する研究——	村松 康彦
<b>[農産物利用学研究室]</b> にぼしの加熱処理により生成する抗酸化物質について	上野 裕三
蚕蛹の休眠ホルモン——分析・精製・単離——	中澤 良隆
<b>[栄養化学研究室]</b> ゼイン (zein) 由来の生理活性ペプチドに関する研究	藤原 正也
アコヤガイ ( <i>Pinctada fucata</i> ) 殻体真珠層を構成する不溶性タンパク質の構造に関する研究	須藤 秀司
小麦フスマタンパク質の化学的諸性質について	金子 学司
<b>[食品化学研究室]</b> シロフィラン分子の解離・会合性の応用研究	宮本 佳典
<b>[生物化学研究室]</b> 骨髄性白血病細胞K562におけるβ-グロビン遺伝子の発現に関する研究	上田 聡
ニコチンアミド結合タンパク質に関する研究	榎田 弘幸
骨髄性白血病細胞K562細胞内イオンに及ぼす酪酸ナトリウムの影響に関する研究	西藤 泰昌
<b>[生理活性化学研究室]</b> 還元糖によるヌクレオシドの化学修飾に関する研究	伊藤 一樹
合成サイトカインの植物体内における動的な挙動に関する研究	竹田 博之
バクテリオファージφX174レセプター糖鎖：ガラクトース含有二糖、三糖、四糖の合成およびその生物活性に関する研究	小島 久毅
<b>[応用微生物学研究室]</b> <i>Pseudomonas cepacia</i> のコレステロールオキシダーゼ遺伝子のクローニング・構造決定及び生成酵素の性質の検討	中川 仁
<i>Clostridium thermocellum</i> F-1 株のキシラナーゼ遺伝子 ( <i>xynS</i> ) の構造解析と大腸菌で発現したキシラナーゼの性質	服部 隆
Cloning of the <i>xynF</i> Gene Encoding Cellobiohydrolase from <i>Clostridium stercoararium</i> F-9 in <i>Escherichia coli</i> and the Properties of the Translated Product	福村 正之
<i>Clostridium stercoararium</i> F-9 株のキシロシダーゼ遺伝子 ( <i>xylA</i> ) の構造解析と大腸菌で発現したキシロシダーゼの性質	吉川 和宏

今年はこのほかきびしい暑さの夏でしたが、私が教えている短大の軟庭部夏期合宿に誘われるまま志摩まで足を延ばして参加してきました。九年前に心臓を患ってから今日までは、テニスの誘惑をじっと我慢して自重してきただけに、清水の舞台から跳び下りるような思いの決行でした。若い娘達を相手に久しぶりにコートで汗を流し、身も心もリフレッシュした思いで帰ってきました。



自身も忽ちにして50年前の若き日に引き戻されてしまい、皆と一緒に肩を組んで懐かしの寮歌を高唱し、青春への回帰のひと時に酔って参りました。また来年を楽しんでいます。

まあこんな調子で至極元気に過せてもらっております。以上簡単に近況の一端を申し述べ、最後に三翠化学会の皆さん方の御活躍と御多幸をお祈りして擲筆します。

## 恩師の近況 松嶋 欽一 先生

平成3年度農芸化学コース(学部)卒業論文及び農芸化学講座、生物機能利用学講座(大学院)修士論文テーマ  
平成3年度は44名の学部卒業生と、18名の大学院修士生を送り出しました。彼らの行いました卒業論文及び修士論文のテーマをお知らせします。

## 卒業論文テーマ

<b>[土壌学・植物栄養学研究室]</b> 高吸水性ポリマーを主体とした植物培地の検討	中 辻 晶 子
湛水直後の水田土壌における N <sub>2</sub> O の放出	上 門 義 和
好気性光合成細菌の分布	中 田 裕 二
淡水性藻類の増殖支配要因の検討および大量培養	川 島 圭 子
Cd 耐性を異にする植物の根と葉における SH 化合物の生成	山 岡 美 保
Cd 処理が植物の無機元素吸収に及ぼす影響	宝 来 研 司
<b>[農産物利用学研究室]</b> タケノコ皮部からの脂質成分および抗酸化成分の検索	酒 井 浩 司
過酸化脂質と環状炭化水素化合物の光反応とその生理活性	浜 田 直 子
X線照射によるイネ胚乳突然変異体の登熟過程における糖成分の消長	塩 原 智 子
イネ胚乳成分に関する遺伝子の発現と制御	西 田 勇 子
カイヅカイブキ葉に含まれる植物生育阻害物質の単離・構造解析	葛 谷 敬 雄
蚕休眠ホルモン及び誘導体の化学合成	毛 受 信
<b>[栄養化学研究室]</b> ラット肝細胞初代培養について	秋 元 政 人
グレートノーザン種子α-アミラーゼ・インヒビターに関する研究	上 坂 直 子
インゲン豆 ( <i>Phaseolus vulgaris</i> cv. Great Northern) のα-アミラーゼ・インヒビターの諸性質に関する免疫学的検討	武 村 政 春
フェザーミールの嗜好性および栄養価に関する研究	田 中 誠 誠
魚肉タンパク質のラット脂質代謝に及ぼす影響	谷 口 愛 奈
ウサギとラットの脂質代謝に及ぼす加齢の影響	福 原 美 奈
<b>[食品化学研究室]</b> ヒアルロン酸誘導体と分子量変化	西 岡 美 幸
<i>Talaromyces luteus</i> の培養液からβ-1,6グルカン調製法の検討	窪 田 充 宏
部分的脱アセチル化キチン (PDAC-35) の利用	富 田 い ず み
パニリン類縁体の CD 包接化	植 村 恭 子
セレンテラジニアナログの化学発光反応機構の解明	藪 野 佳 寿 郎
プロドラッグの発展を目指した新規カーボネート体合成系の開発	茅 切 利 也
サイクロデキストリン結合型多糖の作成と応用	早 野 寛 仁
<b>[生物化学研究室]</b> ニコチンアミド結合タンパク質のラットにおける臓器間及び肝細胞内の分布について	右 京 政 補
ホマリンの生合成経路の検討	菊 地 覚
<i>Bacillus subtilis</i> の deoxythymidine monophosphate kinase に及ぼす 5-azacytidine の影響について	清 水 加 奈 子
シンコメロン酸のダイコン幼植物に対する生長促進作用とインドール酢酸との関係について	西 辻 耕 治
音波がダイコン幼植物の生長に及ぼす影響について	福 井 又 佳 子
ニコチン酸関連化合物によるアオウキクサの開花誘導について——NAD 代謝との関連——	水 谷 有 日 子
エンドウ種子における Vitamin B <sub>12</sub> の検討	長 岡 敏 之
<b>[生理活性化学研究室]</b> ピリド [2,3-d] ピリミジン類の合成と抗サイトカイン活性に関する研究	梅 下 律 子
バクテリオファージφX174のレセプターの単離、精製、および生物活性について	貝 谷 康 治
バクテリオファージφX174レセプター糖鎖：ガラクトピオース含有三糖モデルの立体配座に関する研究	佐 藤 篤 行
生理的条件下における還元糖によるヌクレオシドの化学修飾に関する研究	佐 合 美 紀
生理的条件下におけるマルトオリゴ糖の活性酸素生成能の検出	吉 田 芳 江
<b>[応用微生物学研究室]</b> エンドグルカナーゼC 遺伝子の塩基置換による人工突然変異	田 中 里 織
<i>Clostridium thermocellum</i> F-1 株のキシラナーゼ遺伝子 ( <i>xynT</i> ) の構造解析	高 木 健 一 郎
<i>Ruminococcus albus</i> 由来のプラスミドの単離と大腸菌へのクローニング	金 市 浩 二
エレクトロポレーション法による遺伝子の <i>Bacillus subtilis</i> での発現	宮 城 智 子
遺伝子工学により生産したキシラナーゼの特殊条件下における酵素反応——高温・有機溶媒・強アルカリ性——	原 ま ゆ み
強酸性 (pH1.0) で生育する青カビの耐酸性キシラナーゼ生産と酵素の性質	河 野 昭 宏
キチン分解嫌気性菌の単離と培養と同定	山 崎 真 一

# 今、私は.....

## 不覚

西本和実 (大33)

今年も4月となり、新入社員8人が研究部にやってきました。今年も私の所属する係に配属される新人の1名の教育を担当することに。不幸にも私の教育を受けることになったのは女性で、大変ノテンキなので、あまり気を使わなくてよさそう。

いつもと同じように、器具の使用法と製品の量から... 彼女は実験の基本をきちんとわかまえていて、量の精度が非常にいい。実験の腕は確かである。あまりうるさく言う必要もなさそう。いい人にあたったものだ。

業務法の説明、彼女のテーマについての簡単な助言と仕事の手伝いなどをしながら約三ヶ月が過ぎた。

そして7月30日、この日は昼すぎからSさんのサンプル品の調整を手伝っていて、リボンミキサーと呼ぶ機械で粉体を混合していた(この機械は、金属製のホッパーの中で二枚の羽根が回転し、粉体をかくはん・混合する構造になっている)。粉体の混ざり具合をみるために、うかつにも(とその時は思わなかつた)羽根が回転しているその中に手を入れて粉体をすくおうとした。羽根が一回転するの約二秒かかるので、そのすきにいつものように(というこは毎度危険なことをしていたこと)になる。粉をすくいでいると思つたが、タイミングを誤り、「あー!」と思つたときはもう遅かった。ガリガリと音がして、手を巻き込まれてしまった。羽根が二回転したところでSさんがスイッチを切ってくれた。顔面蒼白になった彼女の表情は今

でも忘れられない。Sさんの知らせて聞いて研究部の人たち数名が駆けつけたが、誰も機械から手はずす方法がわからな。親指の先が猛烈に痛い、手は粉の中に完全に埋もれていて、どのような状態か全くわからない。待つこと五分、工場のT係長が駆けつけ、モーターを手で逆転させ、手はずしてくれた。

粉の中から現れた手を見て愕然とした。親指の腹が大きく裂け、爪が完全になくなつていた。さらに、人差し指が付け根からちぎれかかっていた。「指が一本なくなるかもしれない...」すぐに救急車で病院に行き、緊急手術を受けた。約三十分後、「終わったよ」と院長からいわれておそろおそろの手を見た。縫合部の糸が痛々しい(約二十針ほど縫った)が、人差し指はちゃんと残っているではないか! 骨は人差し指の脱ぎゅうと親指に軽くヒビが入った程度で、複雑骨折をしていなかったのは、全く幸運といかないところがな。いやいや一安心と思つたそのとたん、即刻入院するよう命じられた。

生まれて初めての入院生活が始まった。やり残した仕事が多々ある。どうなるのかな。などと思つたが、「いまさらじたいしても仕方がない。昼寝でもして、長期休暇をもらつたと思つてのんびりするか」とずうずうしく考えることにした。しかし何もすることがないのは何と退屈なこと! 回診・体温測定・点滴だけの単調な毎日である。そんな中で、数少ない楽しみは、夕方来てくれる見舞いのお客さんと会うことだった。

開発室の取締役、上司、同僚、他の係や工場の人たち、はては労組幹部までがお見舞いにやってきました。70人もの人が数人ずつ、毎日やって来たのだから、同室の患者さんに、かなりの迷惑をかけてしまったのではと恐縮している。

右手を使えないので、入院中は食事・トイレ・その他何かをするときに大変不自由な思いをした。左手で字を書く練習もしたが、どうしてもうまく書けず、同窓会名簿作成用のハガキの記入では、後輩のMさんの手をわずらわせることとなった。

結局25日間入院し、8月23日、ようやく退院した。しかし、まだ傷口がふさがらなかつたので、親指と人差し指はほとんど曲らない。現在も毎日通院を続けている。完全に治るにはまだまだかなりの時間がかかるのである。

だが、傷あとが残っているとはいえ、右手の形は元どおりによみがえつた。もし、あの時スイッチを切るのを遅れていたら、人差し指は完全に切断されてしまつていただい。今になつて思うとゾツとする。機械を止めてくれたSさんと、機械から手はずしてくれたT係長には今も感謝の気持ちでいっぱいである。

今回は、「機械に手を入れる時は電気を止める」という基本を守らなかつたために、思わぬ大事故になつてしまった。皆さんも、「基本的なことぐらいわかつておいて...」などとたかをくくらずに、機械の操作や実験時には、よくあたりの基本をきちんと守るようして下さい。(小林製菓株式会社勤務)

去年の今頃は生まれての就職という選択をし、何かから不安で、そのことを両手を挙げて喜ぶ気分になれないまま、遊びであれ、自分の好きなことをし、嫌いなことはほとんどし、そんな気分でも過して来た私にとって一つの会社を選ぶのは結構難しいことでした。「楽しいだけの仕事なんてそうそうあるものではない。」と、それがなかなか認められない甘え人間だつたのだと思います。そんな時、新聞でこんな記事を見付けました。「縁あって入社した以上は、不満があろうと袖振り合う。努力が必要だ。」ま

データーからよりの確かな指示を出さなければなりません。入荷される原料の分析、製品の容量検査、ボイラー水、排水の分析など時間内により効率的に仕事をこなしていくことが要求されます。又、新商品のアイデアを出し合う会議もあり、スピーディーに本社、他社を問わず思はず商品を手にとって見ることが癖になつてしまつた。常にポケットにはボールペンと計算機、そして汗をふくタオルと描いていた以上肉体的な仕事ですが、何千何百ものソックスを吹き上げる過程に自分も加わることができたり、力いっぱい体を動かして働く気持ち良さを味わうことも

**社会人一年生**

**コーミ株式会社**

田中里織

だ何も始まっていないうちから悩むよりも、まずはこれから与えられる仕事を自分のできる限りでこなしていくことの方が大切だと思ふ。

現在私は品質企画管理部に所属し、ソックスやたれ、飲料の製造から充填され製品になるまでの品質管理を仕事としています。各段階のサンプルを製造から取り、その成分濃度を分析し、基準に合うよう修正を出したります。製品の経時変化分析、微生物検査などを行っています。品質管理という仕事は、同じ作業の繰り返しという面もあり、直接製造に携わる場合には、何かトラブルが起れば、過去の

随想ザ・定年

先般、NHKの放送で「昭和の老人」というのがありました。私は来年5月で満65才となり、ついには老人の仲間に入る年となりま。

願ひれば、昭和24年3月希望に胸をふくらませて卒業しましたが、現在のような平和で豊かなものでなく戦後の苦しい時代であり、就職も思いどおりにならず、就職しませんでした。

私が最初に勤務したのは、三重県製粉製糖工業協同組合でしたが、ここには年末までの僅か九ヶ月で退職しました。25年1月農科の先輩から誘われ農林省三重食糧事務所に入所し、38年5月まで約13年間在職しました。

38年5月地方農政局が設置され、東海農政局に6月1日付で出向し農政に取組み以来名古屋、熊本、岡山、東京と転勤しました。

老境のつゆさゆ

芝田博(専一)

聞入り寸前というところです。聞入り寸前というところは、二十代、三十代、四十代、五十代、六十代、七十代、八十代、九十代、百代と、気が持たないのが実態です。この中で私の経験から感じたことを若干申し述べたいと思ふ。

第一に、農政局に行向以来の

柄として。醸造に最も重要な水は、昔、仏法大師が行脚の折、老婆に湧水位置を教えたといわれる「二つ井」といわれる良水が出た近隣であり、恵まれた環境にあつたが、近年の開発に伴う地下水の低下が、一番頭を悩ます事となつてきている。

酒を造るのは人であり、「正直に酒を造れ、自から酒造りを知れ」との教えの様に大手メーカーの出来ない「手造り」をモ

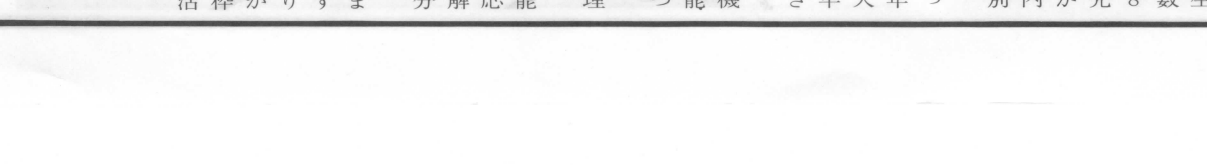
「鉾杉」酒蔵の位置する所は、三重県南部楠田川と宮川に挟まれた多気郡多気町(旧佐奈村)にある。古来より熊野路紀州路の交通要路として栄え、古事記にも「佐奈の懸」と言われ地名が載つており、奈良朝初期には群役所も置かれていたと伝えられている。酒屋としての創業は、安政四年二代目河合武八が酒造りを始め、屋号「河武」で造り酒屋を営み昭和28年

博士課程 近況

昨年度発足した博士課程(正確には博士後期課程)も2年目を迎へ、順調に発展しております。農産化学が関連する分野生物機能応用科学専攻の学生数は、1年次が7名、2年次が8名です。平成5年度入試も、先日第1次の試験が終了し、6名が合格しました。試験合格者の内訳は一般選抜3名、外国人特別選抜3名です。外国人は中国、タイ、ガーナ各1名ずつとなつております。第2次の入試も来年2月に予定されていますので入学を希望される方はなるべく早く最寄りの教員までご連絡下さい。

農産化学の関連する、生物機能応用科学専攻には、生物機能開発学と素材機能利用学の2つの講座が設けられております。生物機能開発学講座には、生理活性機構学、生理機能解析学、微生物機能応用学、素材機能利用学講座には、高分子機能応用学、植物素材修飾学、素材解析利用学、それぞれ3研究分野が設けられています。

最後に、年を取れば自分の体は自分で大切に、暴飲、暴食を慎み健康に十分留意すべきです。最近のテレビで「寝たきり老人」「痴呆症老人」のことが放映されていますが、明日は吾が身となるかも知れませんので各位の御自愛の程をお願いいたします。(高橋 記)



# 予想外の参加者で 大いに賑わう

## 専1 クラス会



本年、3月13日(金)14日(土)、三重県保健福祉センター「ヘルシーバール湯の山」で、久しぶりのクラス会を開催しました。卒業した者は42名、すでに物故者五名、現存者37名(うち2名所在不明)となっております。当日、35名中21名の参加がありました。皆元気で和気藹々の一刻を過ごすことができたのは、何事にもまさる幸せであったと思います。

卒業以来、初めて参加する者もありましたが、四十有余年の星霜を乗り越え、お互い何の遠慮もなく若き日の姿に戻って、懇親の雰囲気になりました。このことは、他の人間関係では経験できないことであり、同窓クラス会のもつ親密さと信頼関係をつくづく感じました。

当初、この会合を計画した幹事は、時期的にみて参加者は

精々15名前後と予定し、そのつもりで会場を予約していましたが、締め切ってみると21名の参加となり、大いに慌てました。とにかく、宿泊を伴うだけに部屋の確保が難しく、場合によっては、幹事だけは宴会大広間で宿泊をするつもりでした。さいわい、当日の二日前に予約のキャンセルがあり、事なきを得ました。

参加の大半の諸兄はすでに一線を退いております。現職時代は何かと毀譽褒貶への対応で過ぎましたが、終わってみれば、何が自分を支える価値であるか、生き甲斐とは何かも含め、今後の人生を再確認する機会でもありました。

来年のクラス会は、関西地区で開催の予定です。元気に再会できる日を楽しみ解散をいたしました。(文責 若林)

# 伊勢路で 旧交を暖める

## 大9 クラス会

大会社の重役も居れば50歳を越えてから不動産鑑定士試験に合格しトラバユしたのもいる。又1100ccのバイクで新幹線の220km/hですっ飛ばしている中年暴走族も居る。社会的地位も趣味もまちまちであるが、クラス会と成れば又別なのかオリンピックの開催年になるかと幹事予定者宅に年賀状で牽制球が送られてくる。学生の時にこうよりを発刊したクラスでこの年まで学生気分がぬけきって居ないのか、クラス会とも成れば四年毎に開催しているが皆出席者も多く常時20名前後の出席があるのが我がクラスである。今回のクラス会は伊勢路で開催すること、幹事は平田(満)

# 昭和10年代世代の会合は...



## 大12 クラス会

三翠化学の総会が榎原温泉で開催されるというので、12回生の東海・関西支部在籍者を中心に声を掛け集集してもらった。我々が社会人になった昭和30年代後半は、東海道新幹線の開通や、東京オリンピックの開催など高度成長を謳歌し始めた時期。従って、就職も公務員より企業(特に製造業)へ多く輩出した。

昭和10年代生まれは、敗戦直後に小学校へ入学し、物不足の中だが、自由と平等、民主主義が日本で築かれつつある中、自分なりの価値感を自分の手で築いただけに強い。難局に打たれ強いガンバリズムがある。

「50歳を過ぎて会社の中核を担うポストに就き、社内はもとより友人ネットワークを利用しながら責務を全うしたい」という気持ちで働いている。役職と責任が重くなった分、プレッシャー

「も強い」と社長業の一人は意欲を見せる。それぞれ集まった者の立場は違っても、ガムシヤラは変わらず、二次会には地元若いホステスさんを呼んで夜遅くまで飲み交わした。同窓会はうるおいを与える憩いのひとときとなる。歳をとられてもお元氣な恩師の方々と、共に語り合い、喜び合えるのはまことに幸なことである。

ほとんどの人は、動物行動学に言う生殖活動で自分の遺伝子を残すことをめたく終えている。第二の人生設計にかかっている者もある。

我々が進む製造業の道は、収益力の低下、環境問題、貿易摩擦とさまざまな問題を抱えている。これらは長期的、国際的視野でじっくり世界を眺めていかないと答は出ない。

願わくば、生物資源学部にも

「強い」と社長業の一人は意欲を見せる。それぞれ集まった者の立場は違っても、ガムシヤラは変わらず、二次会には地元若いホステスさんを呼んで夜遅くまで飲み交わした。同窓会はうるおいを与える憩いのひとときとなる。歳をとられてもお元氣な恩師の方々と、共に語り合い、喜び合えるのはまことに幸なことである。

引用資料  
「毎日新聞」 '92.9.30号  
「日経ビジネス」 '93.7.20号  
(今西康隆)

東と木下両君が市間に向いてくれる事に成ったが、ご遺族から宗教上の(エホバの証人)理由から固辞され沙汰止みと成ってしまった。最初出席予定をしていた者も会議やらの急用で欠席の電話が入り、参加人員も結局16名と成って開催日を向かい成りました。後マージャンを始めた。後マージャンを始めた。後マージャンを始めた。

開催前日ゴルフ組(三輪・平田(忠司)・伊藤・竹尾)は四日市に集合し前夜祭を催し翌25日伊勢カントリークラブ8時47分スタート午後ゲーム終了後伊勢市に集合、結果は?業務中の事故で片足切断の服部君は自ら車を運転して会社命令の研修会をやり繰りした梅本君と来てくれるは、心臓病を抱えた小川君や遠くは埼玉から大嶋君が久し振りに顔を見せるは、クラス会初出席の森島君が来るはでたちまちヤアアアで旧交を暖め出した。

宴会は6時より開始したが話題は山崎君のことが中心で宴会の時間がアツと言間に過ぎました。今回のクラス会では遺族の意志を尊重するが、これを



# たずねびと

- 現在、下記の卒業生の現住所が不明となり、同窓会活動に支障を来しております。ご存じの方は、ぜひ本会事務局までお知らせください。(敬称略)
- 専1.. 林 敏
  - 専2.. 木村 保
  - 専3.. 竹内完伍
  - 大1.. 陶山祝生、高岡正美、中島和夫
  - 大4.. 高野嘉郎
  - 大5.. 小磯元男
  - 大6.. 大杉琢治
  - 大9.. 来田倫夫
  - 大10.. 岩尾敏之、勝 尚規、小島農紀、後久 勉、榎原孝男、田中良明、寺部真行、村瀬鐘造、横関 優
  - 大11.. 河村 明
  - 大12.. 岡部俊道
  - 大13.. 川村 敏、北野 敬、山本邦彦
  - 大14.. 松林 武、永野守男
  - 大15.. 内田勝啓
  - 大16.. 浜島正博、広中教純、山城秀生
  - 大17.. 藤井靖史、宮崎芳博
  - 大18.. 新 邦彦
  - 大19.. 内田博規、大館明敏、高村育男、八重島高司、矢野章二
  - 大21.. 栗山洋一、仲村常雄、森川照司、和仁外雄
  - 大23.. 飯田徹也
  - 大24.. 加藤伊陽子、平口智通
  - 大25.. 八木 為
  - 大28.. 笠井良治、山口(可児)雅子
  - 大29.. 山内利郎
  - 大30.. 宮島龍二郎
  - 大31.. 近藤博巳
  - 大32.. 今井浩之
  - 大37.. 上村真澄、垂谷 尚
  - 以上54名
- 卒業後渡伯、養鶏を営み、在伯三翠同窓生と共に活躍されておりました。ここに謹んでご冥福をお祈り致します。

計 報  
佐々木文雄氏(大4)には本年4月11日、ブラジル、バスターで逝去されました。